

国土交通大臣

齊藤 鉄夫 様

新空港線整備に関する要望書

大田区

平素より、大田区行政に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

大田区は、日本の空の玄関口である羽田空港を擁する自治体として、新飛行ルートを含め、国土交通省が行う航空施策に対し、できる限りの協力をしてまいりました。

その空港へのアクセスを強化するべく、大田区は平成28年4月の交通政策審議会の答申において「国際競争力の強化に資する路線」に位置づけられた新空港線に関して、関係者との協議・調整を重ねてまいりました。

その結果、去る令和4年6月6日に、同答申において課題とされていた、都市鉄道利便増進事業の地方負担割合について、東京都との間で合意し、新空港線の整備実現に向けた大きな一歩を踏み出すことができました。

新空港線は、既存の鉄道ネットワークの強化、大規模自然災害時の代替ルートの確保、首都圏各都市からの羽田空港へのアクセス強化など、様々な効果が期待されているところです。

大田区といたしましては、新空港線の整備促進とともに、蒲田駅周辺をはじめとした沿線のまちづくりについても、関係者とともに強く進めてまいります。

現在、都市鉄道等利便増進法に基づく整備に向け、東京都並びに鉄道事業者とともに、最終的な協議を進めております。令和4年度内の整備主体の設立に向けて取り組んでおりますので、下記の事項を要望いたします。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 新空港線の早期整備に対する助言及び支援
- 2 国土交通省における新空港線整備にかかる予算の確保

令和4年7月27日

大田区長

松原 忠義

